論述審査(専門科目)

問題用紙

- 論述審査（専門科目）の解答は、各自の作業環境において、マイクロソフト Word で作成し、後述の【提出先】へアップロードしてください。
- Word ファイルの 1 行目に問題番号、名前、受験番号（メール内で通知）を記載してください。
- Word ファイル名は、「受験番号 －（ハイフン） 問題番号」としてください。
- 答案は、他の人に相談せず、独力で作成してください。
- 文献に書かれていた事実や考えの「引用」と「自分の独自な考え」を、明確に区別して記述してください。文献にあった内容を利用していれば、逐語的引用ではなくても「引用」です。本文の引用部分には適切な方法で引用した文献を明示して、論文末には、引用した文献のリストをつけてください。リストにあげた文献は、基本的な書誌情報を含むようにしてください。
- 文献中に紹介されている外国語等の文献の表記を、一次資料を自分で参照し読むことなく、説明なしにそのまま用いることは「孫引き」に該当します。特別な理由がない限り避けてください。やむを得ず孫引きする場合は、二次資料であることが分かるように記載してください。

【提出期限】　2022 年 9 月 28 日（水）14:00 受信まで
（提出〆切の日時を過ぎて本学で受信が確認された場合は無効）

【提出先】　以下のフォームから、解答ファイルをアップロードしてください。

フォーム提出先××××××××××××××

提出が正常に完了した場合は、Google formsより受領確認メール（件名「博士後期課程入試 論述審査（専門科目） 2022 年 10 月実施」）が届きます。3 時間以内に届かない場合は、問合せ先メールへご連絡下さい。
Google フォームのファイルアップロード機能を使用しているため、
Google アカウントのログインを求められます。
アカウントをお持ちでない（作成方法がわからない）場合は 9 月 21 日（水）までに
以下のメールへお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：××××××××××××　博士後期課程 入試委員会宛

問題1～8から2つ選び、それぞれについて論じなさい。問題番号を明記し、1つの問題ごとに1つの解答（マイクロソフト Word ファイル）を作成せよ。文字数は 3000 字程度（2700 字以上 3300 字以内）、引用文献リストは文字数に含めないものとする。

問題番号1

日本では 2010 年代に入ってから話題となり、「学習指導要領」2017 年改訂の最も注目すべきキーワードとなった「アクティブ・ラーニング」は、今や学校での学習方法に関する基本用語の一つになっている。以下の問いに答えなさい。

（1）「アクティブ・ラーニング」の意味について述べなさい。

（2）全国の学校では、このキーワードに基づいてどのような実践を具体化させていったか、その特徴的な概要をまとめなさい。

（3）「学習指導要領」では、その後このキーワードの使われ方にいかなる変化が見られたかについて説明しなさい。

（4）「アクティブ・ラーニング」について、あなた自身の認識・評価・課題を述べなさい。

問題番号2

次にあげるキーワードから、3 つ以上を用いて、現代の高等教育の課題の 1 つについて論じなさい。テーマは自由であるが、今後研究を行い、学位論文にまとめたい内容に関わることが望ましい。解答の冒頭に取り上げる課題を書くこと。また、使用したキーワードは、初出の際に下線を引くこと。

大学／短期大学／大学院／専門学校／高等専門学校／アドミッション／進学／入試／キャリア／高大接続／機会均等／就職／レリバンス／学位／学修（学習）成果／学生／退学／休学／留年／学費／奨学金／職業教育／専門職教育／生涯学習／カリキュラム／教授法／産学連携／教職員／FD／SD／質保証／マネジメント／ガバナンス／答申／大学改革／インスティテューショナル・リサーチ（IR）／国際比較／財政／学納金／私学助成／研究／学術／科学技術／政府／市場／学問の自由

問題番号3

文部科学省では、新型コロナウイルス感染回避を理由とする欠席について、指導要録上「出席停止・忌引き等の日数」として記録することが可能としている。このことは、学校現場や児童生徒、保護者にどのような影響を与えたと考えられるか。通知文書や、「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における長期欠席者数の動向も踏まえ、あなたの考えを述べなさい。

※令和２年度調査では、長期欠席に「出席停止・忌引き等の日数」も含んでいるが、この点については、今回の小論文での言及は必ずしも必要ない。

問題番号4

あなたは公立の特別支援学校中学部の教員である。自分が担当するクラスには 5 名の生徒が在籍しており、複数の教員（あなたを含めて合計 3 名）で指導を担当している。現在、あなたは大学院生としても学んでおり、文献で紹介されていた新しい指導方法をクラスで実施し、その効果を測定するために指導場面をビデオに録画し、分析した結果を学会などで学術的な研究として発表したいと考えている。その場合、研究を実施する前にどのような手続きが必要か、簡潔に述べなさい。その際にはご自身が、過去に教育現場（あるいは自分のフィールド）において研究を実施する際に留意した点を含めること。参考文献を最低3つは含めること。

問題番号5

2020 東京オリンピックパラリンピックが閉幕して 1 年が経過した。自国開催のオリンピックを経験した看護教育に携わる者として、2020 東京オリンピックパラリンピックのレガシィとして取り組むべき看護教育とはどのようなことが考えられるだろうか。看護基礎教育で取り組むこと、臨床看護師への教育として取り組むこと、それぞれについてあなたがその当事者であることをふまえて論じなさい。

記述にあたっては、具体的な例を示すなど看護を専門としない人にも分かる表現を用いること。独りよがりの考えのみで構成しないこと。の 2 点を留意すること。

問題番号6

「評価」をめぐる以下のキーワードを最低1回は用いて、1 から 3 の問いに答えなさい。キーワードの順番は問わないが、各キーワードには下線を引くこと。

1 各自の専門領域における「評価」の定義と特徴を説明する。
2 ご自身が試みている「評価」の事例を紹介し、その目標と成果を説明する。
3 専門領域における「評価」の課題を説明する。

キーワード：教育目標、形成的評価、フィードバック、評価尺度、リフレクション

問題番号7

今日、ヤングケアラーの抱える問題が表面化している。文部科学省や厚生労働省もホームページなどで、ヤングケアラーがどのような問題に直面し、いかに解決していくかを示している。

文部科学省
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1387008_00003.htm

厚生労働省
https://www.mhlw.go.jp/young-carer/

あなたのこれまでの経験や従来の議論から、ヤングケアラーの問題とは何か、どのような対応が必要かを、特に教育という観点から、「チーム学校」に言及しつつ述べなさい。

問題番号8

文部科学省は、平成 30（2018）年以降、組織改変をも行うことで「根拠に基づく教育」の重要性を強調するようになった。論文を検索し、学校教育実践の場で行われた「ランダム化比較実験」による研究の実例と「ケース・コントロール」研究の実例を一つずつ取り上げて、それぞれのタイプの研究が学校教育現場で行われる場合の「利点と問題点」を述べなさい。「利点と問題点」は、自分の実践経験を参照しながら具体的に論じること。論文は、日本語のものでも外国語のものでもよい。

論述審査(専門科目)

問題用紙

- 論述審査（専門科目）の解答は、各自の作業環境において、マイクロソフト Word で作成し、後述の【提出先】へアップロードしてください。
- Word ファイルの 1 行目に問題番号、氏名、受験番号（メール内で通知）を記載してください。
- Word ファイル名は、「受験番号 －（ハイフン） 問題番号」としてください。
- 答案は、他の人に相談せず、独力で作成してください。
- 文献に書かれていた事実や考えの「引用」と「自分の独自な考え」を、明確に区別して記述してください。文献にあった内容を利用していれば、逐語的引用ではなくても「引用」です。本文の引用部分には適切な方法で引用した文献を明示して、論文末には、引用した文献のリストをつけてください。リストにあげた文献は、基本的な書誌情報を含むようにしてください。
- 文献中に紹介されている外国語等の文献の表記を、一次資料を自分で参照し読むことなく、説明なしにそのまま用いることは「孫引き」に該当します。特別な理由がない限り避けてください。やむを得ず孫引きする場合は、二次資料であることが分かるように記載してください。

【提出期限】　2023 年 2 月 22 日（水）14:00 受信まで
（提出期限の日時を過ぎて本学で受信が確認された場合は無効）

【提出先】　以下のフォームから、解答ファイルをアップロードしてください。

フォーム提出先××××××××××××××

提出が正常に完了した場合は、Google formsより受領確認メール
（件名「博士後期課程入試 論述審査（専門科目）　2023 年 3 月実施」）が届きます。
3 時間以内に届かない場合は、問合せ先メールへご連絡ください。
Google フォームのファイルアップロード機能を使用しているため、
Google アカウントのログインを求められます。
アカウントをお持ちでない（作成方法がわからない）場合は 2 月 11 日（土）までに
以下のメールへお問い合わせください。

問い合わせ先：××××××××××××　博士後期課程 入試委員会宛

問題 1～8から2つ選び、それぞれについて論じなさい。問題番号を明記し、1つの問題ごとに1つの解答（マイクロソフト Word ファイル）を作成せよ。文字数は 3,000 字程度（2,700 字以上 3,300 字以内）、引用文献リストは文字数に含めないものとする。

問題番号 1

文部科学省は、毎年「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を実施し、結果を公表している。このデータを、自身が問題関心を持つテーマについて、これらのデータを用いて分析を行った結果および考察を述べなさい。用いたデータの出所について明示すること。

なお、この設問は統計解析の能力を問うものではない。

問題番号 2

あなたがこれまでに携わった教育改善について、

（1）なぜその改善に取り組むにいたったか

（2）教育改善の内容（校種や対象・取り組みなど）

を具体的に説明しなさい。

そのうえで、

（3）その教育改善の実践としての優れた点・課題

（4）その教育改善の実践としての意義・成果・社会に対する貢献

を述べなさい。

（5）さらに、研究者としてその教育改善を捉えた際、既存の教育改善の実践に比べてどこにオリジナリティがあるかを当該領域の研究動向を示しながら記述しなさい。

問題番号 3

学習指導要領の改訂によって新たに提示された「総合的な学習の時間」（小中学校）と「総合的な探究の時間」（高校）について、以下の問いに答えなさい。

1．「総合的な学習の時間」の目的・内容・方法について説明しなさい。

2．「総合的な探究の時間」の目的・内容・方法について説明しなさい。

3．「総合的な学習の時間」の趣旨について、あなた自身の見解を述べなさい。

4．「総合的な探究の時間」の趣旨について、あなた自身の見解を述べなさい。

問題番号 4

「私たちには、実践の認識論を探究することが求められている。有能な実践者がおこなう知の生成とは、どのようなものなのだろうか。プロフェッショナルの知の生成は、学術書や科学論文、専門誌に見られる知とはどの点で似ており、また異なっているのだろうか。プロフェッショナルの実践にも知的な厳密性が存在することに何らかの意味があるとしたら、それはどのような意味においてだろうか」（ショーン『省察的実践とは何か―プロフェッショナルの行為と思考』鳳書房, 2007, p.ⅱ）。

上記の文章についてショーンの書物を手元に置き、①以下のキーワードを用いて彼の主張を整理し、その上で、②専門分野での経験をふまえて自分の考えをまとめなさい。

キーワード：行為の中の省察、暗黙知、フレーム分析、厳密性

問題番号5

近年、若者や高齢者の孤立・孤独の問題が深刻化しているが、病気や障がいのある人々は、従来から孤立・孤独になる傾向にあった。病者や障がい者などの孤立・孤独を防いだり解消したりするためには、医療者が薬を処方するだけでは難しいことがあり、「社会的処方」が注目されつつある。「社会的処方」は、心身の問題を抱える者を地域の集団とつなぎ、地域資源を通して生活環境を変えて困りごとを解決するものである。「経済財政運営と改革の基本方針 2022 」（令和4年6月7日閣議決定）においても、「孤独・孤立対策の重点計画」の施策のひとつとして、「社会的処方」の活用が挙げられている。
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/juten_keikaku/dai4/siryou1.pdf

あなたがこれまで経験した、あるいは見聞した孤立・孤独に関わる事例を具体的に示しながら、どのようにこの孤立・孤独の問題を「社会的処方」によって乗り越えられるかを考察して述べなさい。

問題番号6

研究を行う上で重要なことは、研究目的に合った研究方法を選ぶことである。

① 教育分野で用いられる代表的な研究方法を量的研究・質的研究のそれぞれから最低一つずつ挙げ、それらの方法の利点・欠点を整理して述べなさい。
② さらに、あなたが「ある教育方法の効果を検証」することを研究の目的としているときには、どのような研究デザインを組み立てるか、以下のキーワードを用いて端的に述べなさい。自分の専門領域の例を使ってもよい。

キーワード：従属変数、独立変数

問題番号7

COVID-19 の流行は看護基礎教育、看護の現任教育にも大きな影響があった。
この 3 年余りで、あなたが経験した看護基礎教育または看護の現任教育における COVID-19 の影響による変化を説明し、今回の経験をふまえて、今後の看護教育はどう進むべきかについて論じなさい。
論述においては、良い変化、そぐわない変化の両面について言及すること。

問題番号8

教育現場で「ランダム化比較試験」による実践研究を行うことの「功罪」を述べなさい。実際に「ランダム化比較試験」を行った実践研究の論文を検索して「1つ」とりあげ、（1）その研究内容の概略を紹介し、（2）「根拠に基づく教育」の「根拠の水準」についても言及し、（3）自分の専門分野での経験を参照しつつ、その実践研究の「ランダム化比較試験」の功罪を論じること。
研究の「罪」すなわち問題点を指摘したところでは、考えられる問題点の解決方策を提案すること。論文は日本語あるいは英語の論文に限る。とりあげた文献を含めて、引用文献リストを論文末尾につけること。
また引用形式は自分が将来投稿する可能性のある学会の方式に拠り、どの学会の方式に従ったかを最後に付記する。